

事業実績報告書

(※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。)

団体名 おひるねコンサート活動部

1 事業名	おひるねコンサート《ピーターとおおかみ》
2 事業の内容（実施日、場所、回数、内容、参加者数などを含めて具体的に記入してください。）	<p>2024年8月24日、宝塚市文化施設ベガ・ホールにて、おひるねコンサート《ピーターとおおかみ》というコンサートを開催しました。</p> <p>開催に先立ち、宝塚市職員の皆さま、ベガ・ホールスタッフの皆さまには、広報誌・広報板の使用をご許可いただき、市役所やさまざまな施設にチラシを置かせていただき、慣れない会場での演奏会の準備にご助言、ご指導いただき、大変お世話になりました。この場を借りて、厚くお礼申し上げます。</p> <p>プロコフィエフというロシア出身の作曲家の曲を演奏するにあたり、「ピーターとおおかみ」以外にも、チャイコフスキー、リムスキー＝コルサコフといったロシアの作曲家の作品を取り上げることになり、長引くウクライナ・ロシア戦争で犠牲になっている方々を偲んで、ユニセフの募金箱を置くことにしました。</p> <p>また、宝塚市にお住いの菅谷美枝子さんからご連絡をいただき、故・菅谷淳さんの作品を当コンサートに使うこと、また会場でその絵本を販売し、ユニセフに寄付することをご許可いただいたので、ユニセフには3万円ほどの募金が集まりました。</p> <p>コンサートの演目は、チャイコフスキー作「アンダンテ・カンタービレ」、リムスキー＝コルサコフ作「シェヘラザード」メドレー、チャイコフスキー作「くるみ割り人形」メドレー、木管5重奏の楽器をそれぞれの楽器がソロで活躍する名曲をつないで紹介する「山の音楽家じゅんばん協奏曲」、プーランク作「ノヴェレツテ」、休憩をはさんで、プロコフィエフ作「ピーターと狼」、アンコールはヘンリー・マンシーニ作「小象の行進」でした。子ども連れの方をはじめ、150名ほどのお客様がきてくださり、終演後お会いした方にはこのプログラムが大変好評でした。</p>
3 市制70周年をお祝いした内容	<p>チラシに「宝塚市の70周年をお祝いしましょう」と記載したほか、SNSでも同様に呼びかけました。</p> <p>当日、本番前には山崎市長がご多様ななかわざわざお越しくださって、出演者全員を交えてインタビューをしてくださいましたので、私たちも一気に宝塚市の10年後に向けた期待と70周年のお祝いの気持ちでいっぱいになりました。</p> <p>会場内も、宝塚市在住の芸術家であられた菅谷淳さんの温かみあふれる絵で飾られ、祝賀ムードでいっぱいでした。</p>

4 事業の効果・成果

小さなお子様から高齢の方まで、一緒になって音楽を楽しんでいただきましたので、宝塚市のエイジフレンドリーに貢献できたと自負しております。曲紹介の間は声をあげていたお子様も、演奏が始まったとたんピタリと静まって聞き入っていたとも伺いました。かねから、こうした取り組みをもっと市や公共団体が続けて欲しいという声もあり、インタビューでも申し上げた通り、おひるねコンサートは宝塚市の方々に気に入っていただいて今に至る企画ですので、当コンサートを開催できたこと自体が、70周年の成果かもしれません。

このコンサートに来てみて、また別の音楽会にも行ってみようと思ったださる方がいたら、大成功だと考えています。

5 実施した安全対策

緊急避難時に支障がきたすというお話だったので、以前のおひるねコンサートで試用していた芝生状のラグカーペットを敷くのを断念しました。